公益財団法人栃木県国際交流協会 Tochigi International Association 機関紙

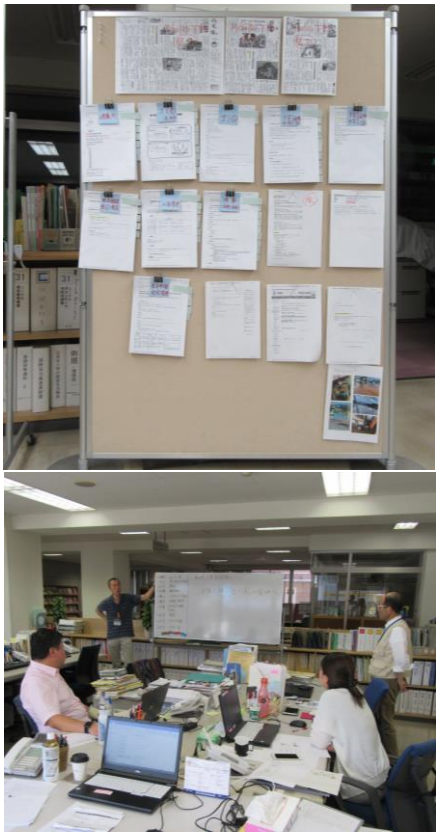
2019 12月号
No.149
WINTER

ＴＩＡニュース やぁ！

TIAトピックス
　外国人介護人材受入れに関する研修会
わくわく☆多文化
　台湾を知ろう！
JICA情報局
　海のむこうの暮らしから「ベナン」

やさしい にほんご Yasashii Nihongo
TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。

▲TIA の事務所入り口。栃木県災害多言語支援センターを多言語で掲示



▲（上）被災地域の情報を収集し貼り出した
（下）情報共有のためのミーティング

台風第 19 号　－ TIA が行った外国人支援 －

10 月 10 日から 13 日にかけて、台風第 19 号が関東地方に接近通過した影響で、県内も広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水被害が発生しました。

TIA は、栃木県からの要請を受けて「栃木県災害多言語支援センター」を事務所内に開設し、被災地域の情報収集、多言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語）による情報提供および相談対応を行いました。

情報提供の方法としては、①メール登録者への配信、②ホームページ掲載、③TIA 災害時外国人キーパーソン（以下、キーパーソン）を通した情報拡散などがあります。キーパーソンとは、災害時に TIA が出す情報を各自の SNS などで、外国人住民に伝えられる人のことです（12 月 1 日現在、16 か国 37 名が登録）。今回の災害では、キーパーソンの皆さんに、たくさん協力していただきました。また、外国人相談窓口においては、家や車の浸水被害や罹災証明書について、台風通過後に徐々に相談が入るようになりました。

今後も関係機関との連携を大切にし、災害時の外国人支援を進めていきます。

＜TIA による情報配信の内容＞

- 台風が近づいています！
- 多言語相談をやってます
- 災害ごみについて
- 給水情報
- 片付けるときは写真を撮っておきましょう
- 泥出しや片付けのボランティア情報
- 罹災証明書の申請について
- 被災地を狙った盗難や悪質セールスに注意
- 自主避難所の開設
- 出入国在留管理庁からのお知らせ

みんなの防災教室

9月7日（土）　小山市桑市民交流センター「マルベリー館」

地震や台風などの災害に備えて防災について学ぶ教室を小山市と小山市国際交流協会との共催で実施し、8 か国の外国人と日本人の計 32 名が参加しました。

まず TIA 職員が、日本の災害や避難所について「やさしい日本語」で説明しました。また、TIA 災害時外国人キーパーソンのキム・ボンジャさん（韓国）が、東日本大震災のときに、周囲の日本人と違う避難行動をとってしまった経験を振り返り、日ごろからの防災教育の大切さを伝えたほか、パスポートは大切なものだといつも意識することを呼びかけました。そして、外国人と日本人混合のグループに分かれて、非常時に準備しておく物などを話し合いました。

また、栃木県防災士会員により、身近な物を使った防災グッズ作りや非常食の試食をしました。外国人参加者からは、有効な情報だった、友達に教えたいとの感想が多数ありました。

▲防災士から段ボールでトイレの作り方を学ぶ

栃木県・真岡市総合防災訓練

9月1日（日）　真岡市鬼怒自然公園

県と真岡市が行う防災訓練において、外国人被災者への情報提供やニーズの聞き取りなどを行う「災害多言語支援センター」の設置運営訓練に協力しました。

▲避難所で外国人被災者への聞き取り訓練

訓練は、真岡市で震度 7 の地震が発生したと想定し、外国人被災者を避難所まで誘導し受付を補助する訓練、避難所にいる外国人に困っていることや不安なことを外国語や「やさしい日本語」で聞き取り、必要な情報提供を行う訓練を併せて行いました。

▲多言語支援センターで聞き取りの共有を行う真岡市スタッフ

聞き取りの訓練では、家族と連絡が取れない、財布や在留カードがなくなったのでどうすればいいかなどの質問が出ました。

訓練後には参加者全員で、今後の課題について話し合いました。

外国人介護人材受入れに関する研修会

10 月 25 日（金）　とちぎ福祉プラザ

介護人材不足が叫ばれる中、外国人介護人材をどのように活用していくかを学ぶ研修会が、県と TIA の主催で開催され、福祉施設関係者等 103 名が参加しました。

厚生労働省福祉人材確保対策室の佐々木淳也氏による講演「外国人介護人材受入れに係る制度及び手続きについて」を皮切りに、一般社団法人にほん語でかいご共育会の長谷川朋子氏が「栃木県内の外国人介護人材の現状及び介護現場の多文化共生について」をテーマに講演しました。また、外国人介護人材受入事業所からの実例報告として、みながわ桜園（栃木市）、田井の里（真岡市）、さつき荘（鹿沼市）の 3 つの介護施設から、EPA 介護福祉候補者や技能実習生などの受入れ状況を報告していただきました。

参加者からは「実例報告が大変参考になった」「受け入れる施設側の責任の重さを痛感した」などの感想がありました。

▲100 名を超える福祉施設関係者等が参加した研修会

海外邦人安全対策セミナー

9 月 20 日（金）県内企業対象／9 月 27 日（金）一般対象
とちぎ国際交流センター

海外生活や海外旅行に際して事件や事故を回避するためのノウハウ、テロや一般的な治安に関する安全上のリスクについて、海外進出している県内企業の駐在員や出張者を対象としたセミナー及び、海外旅行に関心のある一般の方を対象としたセミナーをそれぞれ行いました。

▲熱心に話を聞く参加者のみなさん

いずれも TIA 参与の石塚勇人が講師を務め、企業対象では 15 名、一般対象では 41 名が参加しました。セミナーでは、海外での犯罪事例やテロなどについて、動画も用いながら、どうすれば事件・事故を回避できるかについて解説しました。積極的に質問もあり、参加者から高い関心が示されました。

グローバル人材のための合同企業説明会

10月2日（水）　栃木県総合文化センター

「グローバル企業人材確保支援事業」の一環として、外国人留学生、または海外留学や国際協力ボランティア経験者といったグローバル人材を対象に、海外展開等をしている県内企業が事業紹介を行う合同説明会が、県とTIAの主催で開催され、県内企業24社、大学や専門学校等に通う外国人留学生等117名が参加しました。

▲各ブースで企業説明が行われた

参加者はエントリーシートを記入してから、会場内の各企業のブースで、担当者から業務内容や今後の展開についての説明を聞きました。中には、積極的に質問し実際の就職活動に役立てようとする様子も見られました。参加した留学生から、県内には海外進出する企業が多くあることに関心を持てたという声がありました。

日本語ボランティア情報交換会

10月25日（金）　とちぎ国際交流センター

外国人に日本語を教えるボランティア活動を行っている方を対象に、アクラス日本語教育研究所代表理事の嶋田和子氏を講師に迎え情報交換会を実施しました。

今回は、鹿沼市で活動されている「にほんご FRIENDLY CLASS」の柿沼亮子氏、青木弘子氏が、日頃の活動の様子、学習者のニーズやレベル差に応じた工夫、教室の運営費のための助成金申請、地元のお祭りに外国人学習者を巻き込む活動、ベトナム少数民族への支援などを発表しました。

▲実践的アドバイスをする講師の嶋田氏

また、この教室の元学習者でベトナム人のホアン ティ ハン氏は、日本語の上達だけでなく、教室を通じて様々な人とつながったことに感謝したいと話しました。

その後は、日本語の授業において、ロールプレイや絵コンテを取り入れる具体的な方法を学び、グループで発表し理解を深めました。

▲左から柿沼氏、青木氏、ホアン

やさしい日本語出前講座

下記主催の研修会でTIA職員の田島亮子が講師を務め、「やさしい日本語」について紹介しました。また、TIAは「やさしい日本語」をテーマにイベント出展もしました。

＜研修会＞

- **那須教育事務所**
  8月30日（金）
  「那須地区人権教育担当者等研修会」
- **小山市教育委員会**
  10月29日（火）
  「小山市外国人児童生徒教育研修会」
- **下都賀教育事務所**　11月11日（月）
  「下都賀地区人権教育合同研修会」
- **栃木県立烏山高校**　11月12日（火）
  「国際理解教育講演会」

▲やさしい日本語で書く演習

＜イベント＞

- **ヒューマンフェスタとちぎ2019**　11月9日（土）
  とちぎ福祉プラザ
  「やさしい日本語で話そう！」

▲子どもたちとわいわい楽しく！

ランチタイムコンサート

とちぎ国際交流センター

▲素晴らしい音色を楽しんだ

■フルート＆エレクトーン

栃木県・フランス ヴォークリューズ県友好交流30周年記念

9月6日（金）出演者：栗田智水氏（フルート）、井上智美氏（エレクトーン）
曲目：シシリエンヌ、アヴィニョンの橋の上で等

■日韓友好コンサート（オペラ）

10月4日（金）出演者：チェ・スンジン氏（テノール）、石田忠隆氏（バリトン）、粂川玲衣香氏（ピアノ）ほか
曲目：アマリッリ、ガンジス河より陽は昇り等

おもてなし英会話シリーズ
めざそう！えいごボランティアガイド2

9月18日（水）～11月20日（水）（全10回）

今年2回目となるおもてなし英会話は、好評のうちに終了しました。

講師は引きつづき、全国通訳案内士の平野聖乃氏。観光地や日本文化の紹介のための英会話を学びました。

▲わかりやすく指導する講師の平野氏

わくわく☆多文化　台湾を知ろう！

白鷗大学経営学部 4 年の小林穂乃香です。私は、文部科学省主催のトビタテ留学 Japan プログラムを利用して台湾の銘傳(めいでん)大学の観光学部に 1 年間交換留学しました。帰国後、9月～10月までの17日間､TIAでインターンとして実習しました。

ここで、台湾に住んで驚いたことを紹介します！

■台湾の食べ物はリーズナブル

日本でタピオカミルクティーを買うとLサイズ600円くらいすると思いますが、台湾ではLサイズ150円～200円くらいです。食事もリーズナブルで、おいしいです！私が住んでいた桃園市の田舎の方では、1回の食事に300円～400円くらいでおなかいっぱい食べられました。

▲どれもおいしい台湾料理

■台湾の人々はとにかく優しい

台湾の人々は温厚で接しやすく、親切な方が多いです。道を聞くと行きたいところまで案内してくれることがしばしばありました。

■台湾の言葉は日本語に似てる！？

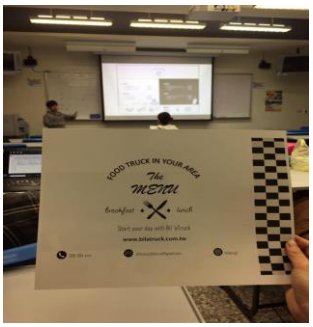
台湾の公用語は中国語ですが、台湾語も使用します。日本が台湾を統治していた歴史もあり、台湾語でも「おじさん」､「オートバイ」など日本語と同じ単語で、同じ意味の言葉が数多くあります。

■授業中にお弁当を食べてOK！

台湾の大学の授業は、午前8時から午後8時ぐらいまで開講しています。朝早くから遅くまで授業があるため、学生たちが朝食や夕食を食べながら授業を受けるのです。その光景には本当に驚きました。先生も朝食のサンドイッチを食べながら授業をしていた時もありました。

■台湾で英語が学べる！

台湾留学と聞くと中国語を学ぶイメージが強いと思います。でも、私が通っていた銘傳(めいでん)大学は、英語に力を入れているため、経営学や観光学などの授業は、英語で行われています。中国語と英語の二つを勉強したい人には、とっておきの環境かもしれません。



▲英語で行われるレストラン経営の授業

JICA 情報局

海のむこうの暮らしから ～ベナン　看護師隊員より～

渡邉円美(まるみ)さん（栃木市出身）

【こんな活動をしていました！】

西アフリカにあるベナンという国の診療所で看護師として活動し、今年10月に帰国しました。主な活動は、診療所のお掃除。なぜ看護師なのにそんな事をするの？と思われるかもしれませんが、実はただの掃除ではありません。整理整頓などを通して仕事のムラやムダを減らし、医療の質を向上させる重要なテクニックなのです。基本的なことではありますが、不用品の廃棄、廃棄物の分別、カルテ整理カードの導入などを現地の看護師さんたちと始め、少しずつ状況は改善していきました。小さなことからコツコツと、ベナンの医療環境は向上しています。

▲診療所で活動する渡邉さん(右)

【栃木県のみなさんへメッセージ！】

目標をもって取り組むこと、無計画でも始めること、どちらも大きな歩みだと感じました。世界中の〝行動する人〟を尊敬しています！

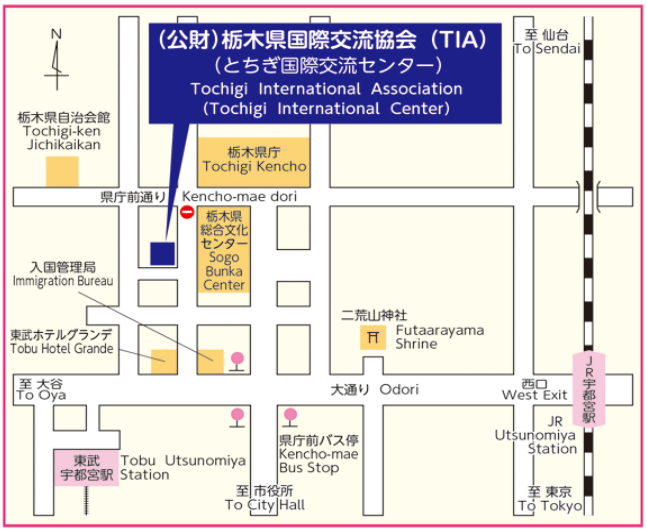
JICA 教師海外研修報告会

日時：1月25日(土)13:30～16:00（予定）
場所：とちぎ国際交流センター
内容：県内の先生方による、ネパールやミャンマーでの海外研修を生かした授業展開の報告会です
【問合せ】JICA 栃木デスク　℡ 028-621-0777

ＴＩＡで職場体験を受け入れました

宇都宮海星女子学院高等学校1年の横山日向子さんが、10月1日から3日間、TIAで「グローバル人材のための合同企業説明会」などの会場準備や受付等の業務を体験したり、TIAの様々な事業について学びました。

▲受付を行う横山さん(右)



編集・発行　公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)
住所　宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL　028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)
業務時間　8:30～17:15　休館日　日曜・月曜・祝祭日・年末年始
URL　http://tia21.or.jp　Email　tia@tia21.or.jp